

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 農林水産部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県民の森 (三重郡菟野町大字千草字西貝石 7181-3)
指定管理者の名称等	NPO法人 ECCOM 理事長 森 豊 (三重郡菟野町千草 3927-1) (旧称:特定非営利活動法人 三重県自然環境保全センター)
指定の期間	平成 28 年4月1日～令和3年3月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	1 県民の森の森林、植物等の管理に関する業務 2 県民の森の施設、設備の維持管理及び修繕に関する業務 3 県民の森の施設、設備の利用に関する業務 4 自然体験型イベントの実施に関する業務 5 ホームページ等による県民の森内の自然情報やイベント情報の提供に関する業務 6 生物多様性の保全に配慮した取組に関する業務 7 その他県民の森の管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	B		5年間の管理期間を通して、公園内の森林、植栽木、芝生等の植物管理、遊具や建物、消防施設、浄化槽の保守点検などの管理業務を適正に実施した。定期的な巡回活動により異常個所の早期発見に努め、施設の適正な維持管理や環境美化に取り組んだ。 森林の管理については、公園ボランティア「モリメイト」と連携し、適切な管理を行った。
H29	B		
H30	B		
R元	B		
R2	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	B		施設利用者数については、毎年目標値以上となっており、平成 29 年度以降は目標値の 120%以上となっている。特に令和2年度は新型コロナウイルスの感染リスクの低い広い場所を求める県民の利用が多く、過去最高(173,287 人)の利用者数となった。 メールマガジンやSNSを活用し、広範囲に施設やイベントについての情報発信を行った。
H29	A		
H30	A		
R元	A		
R2	A		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

収入の部		支出の部	
指定管理料	119,008,000	事業費	14,381,059
利用料金収入	0	管理費	110,338,751
その他の収入	5,291,655	その他の支出	0
合計 (a)	124,299,655	合計 (b)	124,719,810
収支差額 (a)- (b)	△ 420,155		

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者 の自己評価	県の 評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標 項目	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R元 実績値	R2 実績値
H28	B		公園施設全体の 利用者数	120,000 人	137,671 人	167,974 人	168,309 人	158,658 人	173,287 人
H29	A		施設利用者の 満足度	80%	86.3%	87.8%	86.1%	87.4%	85.9%
H30	B		自然体験型 イベントの 満足度	92%	93.6%	96.1%	95.0%	94.7%	95.1%
R元	B								
R2	B								
全期間におけるコメント									
<p>施設利用者数は、毎年目標値以上となっており、平成 29 年度以降は目標値の 120%以上となっている。 施設利用者の満足度及び自然体験型イベントの満足度については、5年間を通じて目標を達成した。</p>									

6 総括評価

- ・ NPO法人ECCOM（旧称：特定非営利活動法人 三重県自然環境保全センター）は、森林管理について専門的な知識を有していることや、危機管理に関するマニュアルの作成など緊急時や個人情報等への対応も十分に考慮されており、管理運営に関する責任体制、実施方針が確立されていると評価され、選定された。また、同法人は平成 23～27 年度の指定管理者でもあり、県民の森の自然環境を最大限に生かしたイベントを増やしたこと等で利用者数を順調に増加させており、運営・管理を適切に行ってきたと認められ、引き続き管理を行うことで、森林環境教育の場としての十分な機能発揮と、長期的な森林の姿を見据えた適切な森林管理を行うことが期待された。
- ・ 施設利用者数については、ホームページやSNS等による積極的な広報や多数のイベント開催等により、利用者が増大した。また、利用者アンケートや日常的な施設点検により施設の快適な維持に努め、異常箇所の早期発見と修繕により利用者の安全な利用を図ることなどによりリピーターも増加している。
- ・ 菟野町教育委員会と連携して子供たちの情操教育の場として園内を提供したほか、日本野鳥の会や三重県環境学習情報センターなど他団体との共催によるイベントを多数開催し、森林環境教育の普及に努めた。
- ・ 「みえ生物多様性推進プラン」に沿って、希少動植物の保護・調査や外来生物の駆除などを行い、生物多様性が保全された公園を目指した。また、近年では四日市西高校が主導するフクロウ保護プロジェクトに協力した。
- ・ 業務執行体制では、事務分担や責任の所在を明確にするとともに、担当者を管理事務所に常勤 3 名、非常勤 2～4 名を配置している
- ・ 危機管理に関しては、該当マニュアルを作成し、自然災害や公園内の事故等への対応や報告体制について平日、休日ともに整備し、適切な対応を行った。
- ・ 5年間を通じ、施設管理、成果目標への取組など積極的に行ってきたと評価できる。同団体は、令和 3 年度以降も指定管理者に選定されており、より一層の利用者満足度の向上に向けた取組を進めることが望まれる。

※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :

「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。

「B」→ 業務計画を順調に実施している。

「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。

「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※ 「3 施設の利用状況」

「5 成果目標及びその実績」

の自己評価

:

「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。

「B」→ 当初の目標を達成している。

「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。

「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

※ 県の評価

:

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。

「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。

「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。